

健康長寿と建設部を集約する案。

【職員数】

- ・ 健康長寿福祉部 115名 (子ども未来課15人含まず)
 - ・ 建設部 42名
 - ・
- 合計 157名

【増築棟試算】 上記157名を基準とする

- ・ 延べ面積 約3,500㎡ 157名 × 22.05 = 3,462㎡
参考 峰山庁舎 3,858㎡
- ・ 階層試算 2階建 3,500 / 2F = 1,750㎡ > 1,698㎡ (現計画5,094 / 3F)
3階建 3,500 / 3F = 1,170㎡ < 1,698㎡ 差 約528㎡
※ 3階建とすることで建築面積が約528㎡抑えることで駐車場の確保ができる。
- ・ 建築費用 3,500㎡ × 561千円 = 約19.7億円 (再提案は28.1億円)
- ・ 部署配置シミュレーション

	1案	2案
峰山庁舎	市長、市長公室、総務 91名 市民部、市民課 78名 医療部 6名 監査事務局 4名 計 179名	市長、市長公室、総務 91名 市民部、市民課 78名 市民課・市民局除く 〇〇名 医療部 6名 監査事務局 4名 計 179名 - 市民課・市民局 名
増築棟	健康長寿 115名 建設部 42名 計 157名	健康長寿 115名 子ども未来課 15名 市民課・市民局 名 計 130 + 市民課市民局 名
大宮庁舎	教育委員会 62名 子ども未来課 15名 海の京都 DMO 19名 京都地方税機構 13名 農林水産部 50名 計 159名	教育委員会 62名 海の京都 DMO 19名 京都地方税機構 13名 農林水産部 50名 建設部 42名 計 186名

費用差額 8.4億円 真水として 2.39億円の費用削減。

計算 8.4億 × 0.95 (合併特例債対象分) × 0.3 (負担分)